

令和２年度 稲沢市地域自立支援協議会 第２回就労支援部会 議事要旨

[日 時] 令和２年 10 月 5 日（月）午後 2 時～午後 3 時 30 分

[場 所] 稲沢市役所 第 1 分庁舎 2 階 第 3 会議室

[出席者] 就労支援部会委員 8 人、事務局 3 人

[欠席者] なし

[議 事]

1 協議事項

(1)企業への啓発活動等について

- 前回は、啓発活動については、情報発信として市の HP への情報掲載、チラシを作成して企業へ配布、チラシに QR コードを付けて色々な所へリンクするという意見だった。内容について検討していきたいと思う。見学会の実績を部会では共有していたが、企業へは知らせていなかったのでお知らせした方が良いと思う。ハローワークへもリンクした方が良いか。
- 雇用義務については改めて協議会で説明しなくても発信されているので分かるように繋いでいくと良いと思う。リンクについては相談しないといけない。
- 福祉的就労について知らない方が多いと思うので発信してはどうかと思う。
- 昨年度の企業見学会での縁があり、私共の事業所が軽作業をいただいた。コロナの中で仕事をいただけて凌ぐことが出来た。もう一つ造園業の会社との縁をいただき、公園の清掃管理を福祉事業所としてお手伝いすることになった。1 人につき最低賃金以上の工賃をもらえて収入源になった。実績につながっていることを情報発信してはどうか。
- 情報発信する内容について、もっとこういう内容はどうかということがあればお聞きしたい。
- 特別支援学校でも HP はあるが、企業にみていただくことは少ないと思うのでチラシでリンクして覗けるようにしていただくと良い。学校のコロナ対策とか、行事についても出しているのだから分かると思う。
- 掲載する内容として今まで見学した方の様子を掲載することはできるか。
- コードを読み取ると動画や写真がでてきたりするのでできるだろう。
- HP 上のコードをコピーしてそこへ行くという仕組みなので、行った先に動画があるか画像があるかで違う。QR コードはそこまで案内していくだけのもの。行った先の動画を作ろうとするとセンスが必要。ただ撮るだけならできるが、テロップを流したりするのは手間がかかると思う。
- 動画の中身を凝ろうとすると時間とテクニックが必要。個人情報の許可の問題も気にしないといけない。本人が良くても家族が聞いてないとなると難しい。
- 福祉的就労について何かあるか。

○HPがある福祉事業所もある。福祉事業所の内容をまとめた一覧を見られるようにできると良い。

○凝った動画は難しいと思うので、今年度は何か情報発信できれば良い。事務局中心にしてメール等で委員とやり取りをしていく。

(2)障害者優先調達の推進について

○市の業務が一つでも事業所へ発注されるように、事業所があることも知らないで周知するため、各事業所の取り組み内容を種類別に載せてある冊子を市幹部が集まる会議で説明した。また、一般職員に対しても、情報が見られるところへアップロードして周知した。来年度以降も引き続き行っていく。

○全庁的に情報を流して稲沢市で仕事を委託できないかやっているということだが、何をお願いしていこうかイメージがつけづらいのかと思う。案内の仕方にもよるが、チラシ封入とか、清掃とか、除草作業とかだとイメージしやすいと思うが、例えばそんな案内をしていただいたということか。

○優先調達推進法の周知と、この案内を見てもらい興味があれば、直接事業所か、福祉課へ声をかけてほしいと案内した。事業所一つ一つの個別の紹介はしていない。

○福祉課を経由して話が来るわけではないか。

○各課の相談には乗る。内容により対応する方針。部会でも説明したが、この制度を使い注文しても契約はそれぞれの担当課と事業所になる。福祉課は介在できない。

○できれば近い担当課である福祉課の取りまとめだと事業所も相談しやすい、他課に行くのはハードルが高い。福祉課で情報を流したり集約したりするのがスムーズだと思う。

○昨年度実績以上に調達を進めるルールがあり、優先調達の担当課は福祉課だと思う。

○福祉課の立ち位置としては、優先調達の周知が役割だと考えている。

○数値目標を立てるのは契約課か。

○方針を立てるのは福祉課、契約検査課は主に実績を市民に報告する役割だと思う。

○実績以上に実行する責任は福祉課で、結果として、実績を下回ると困るのではないか。

○罰則はないが、可能な限り避けたい。今回は部長以上の会議で推進して下さいと、予算説明の日にわざと当てて強く説明をした。いきなり広がることは無いと思うが少しずつでも普及させていきたい。

○周知集約は福祉課で担っていただきたい。

○相談があれば対応したい。担当課も今までの繋がりなどがあるので全て叶うということには行かないと思う。

○先回の話でも、今シルバー人材センターをお願いしているところをいきなり変えるのは難しいと言うことも理解できる。今までのものは仕方ないが、新しい仕事が出来たら福祉事業所でも出来るということを周知していく必要がある。

- 優先調達の仕事を決めるのは公開ではないのか、説明会があり出来そうなところがないかというようなことはないか。
- そういうものはない。冊子を見ていただくしかない。今までの依頼先で困っていない状況で変えるのは、こちらにも理由が必要になる。

(3)第 6 期障害福祉計画について

- 福祉施設から一般就労への移行された方の実績になる。昨年度、移行者数は 15 人、移行支援事業利用者は 33 人、移行支援事業所ごとの移行率 3 割以上の事業所はない。
- うちの事業所の実績が違う。3 枚目の一覧にある利用者は 2 人ではなく 12 人である。
- 県の資料になるため県に再度確認する。移行率も変わってくると思う。
- 市が支給決定している人毎の移行状況については、利用している事業所は市外の事業所も利用されている。
- 事業所毎の移行者数については、市内では 3 つ事業所があるが、このうち 2 つは実績がない。新規事業所もある為だが、3 割達成が分かる資料になっている。
- 計画素案について、就労移行支援だと利用者数は前回計画が 27 人だが実績は 33 人。他の項目を見ても前回計画で立てた数値は達成されている。アンケート結果は、将来の生活への不安については経済的な安定、次いで支援やサービスがあるか、次いで、就学や就職先の確保が多く見られた。昼間の過ごし方については、身体障害の方は会社勤めや就業、知的障害の方は作業所への通所が多い。精神障害の方や重複の方については、自宅が多く、その他は小学校中学校への通学が多かった。就労支援として必要な事は、職場の理解が多い。素案の目標数値は、国が示した方針に準拠して設定しているが、御意見があればお願いしたい。その他の部分でもお願いしたい。
- 補足として、現在は第 5 期の福祉計画と第 1 期の障害児福祉計画の期間である。3 年毎に作成しなければならない。来年度から 3 年間の計画を作成しないといけないが、目標は自立支援協議会の委員に諮って検討していくことにしている。
- サービス利用状況は各施設から報告があるのか。
- サービスを利用したら事業所から請求が上がるためそれを基に出した数値である。
- 就労支援に関しては、計画を実績が上回っているということでしょうか。
- 全てそうである。
- 障害福祉計画の成果目標について、集計は年度末か。
- 令和 2 年の 3 月末時点の数字になる。
- 一般就労への移行について、目標値が令和 2 年度は 18 人だが、元年度の実績が 15 人、今年度目標達成するにはあと 3 人必要となるが、現状はどうか。
- 市内と市外の利用者が半々くらいの利用率。市内の方で見ると事業所としては横ばい。
- コロナによる影響はそれほどないのか。
- 職種により製造業などが相手だと難しいが、物流などは求人があり結びついている。

- ハローワークでは就職者数はどうか。
- コロナの影響はあると思う。事業所へ訪問するのも嫌がられる業種もある。新しく雇い入れるにあたり、コロナの意識が低い方を雇い入れるのは難しいと言われる会社がある。会社へ入る時にマスクや消毒をしていくが、障害のある方はその辺の意識が薄いと言われて適さない業種もある。障害者の雇用は厳しいのが現実。雇用状況調査をしているが、今年は数的に厳しい事業所が昨年より多い気がする。コロナの影響で、外国人なども厳しい状況。業種によって影響がない、派遣とか、人気車種の車の下請け業種は大丈夫だが、そうでないと年内は厳しい事業所はある。高卒求人についても当初 2〜3 割減だった。コロナによる影響がないことはない。採用控えはある。
- 障害者の法定雇用率はまた上がる。来年 3 月に 2.2 から 2.3 になる。
- 雇用した事業所は雇い入れを受け入れし易いと思うが、0 人で雇用がない事業所、労働者が少ないと対象にならないが、そうした企業が多く、1 人でも雇用してもらおうと理解していただけたと思うが、その 1 人雇用のハードルが高いと感じられる。1 人でも雇用すると、今は精神が多いので、周りの従業員に理解していただけない事が多い。経営者は理解していても現場はなぜ苦労して、面倒見ないと、という声になる。中小零細になると、うちではとても無理という話が返ってくる。
- 過去、2 から 2.2 になる時にインパクトがあったが、また上がることでどうなのか。
- 2.2 から 2.3 で影響を受けるのは大手になると思う。中小だと全く影響を受けない会社が多い。最賃も 1 円あがり 927 円になった。

2 その他【就労支援機関マップについて】

- 市役所やハローワークや相談支援事業所などで活用している。今まで 2 回更新し、機関の増減が激しく昨年 8 月に更新したが、更新時に既にデータが古くなっている。年 1 回は更新が必要だと、一宮市の協議会で話をしている。稲沢市と合作している。今回発生した問題としては、今までは 1 つの移行支援事業所が、デザインを無料で引き受けていただいていたが、今年から難しくなった。使い勝手が良く、現場から評判が良いので情報は更新していきたい。一宮市では市の就労支援機関 B 型が中心になりマルシェを月 1 回開催し、その売り上げの一部を積み立てているため、そこから支出しようと考えている。稲沢市としてはどうしていくか。
- 作成にはいくらかかるのか。
- 大体 8 万円くらい。デザイン代として。
- 印刷も無料だったか。
- 定着しつつあるので、ダウンロードが増えている。
- 事業所に聞き、負担していただくことができればと思うので連絡会で相談をしたい。
- 来春卒業者の進路について状況はどうか。
- 今日から実習が開始し、一般希望が 11 人、全て実習先が決まり行えている。新規企業

も2社ある。採用も前向きに検討してもらっている。年度始めには影響が大きいかと思っていたがなんとか進路が決まり進めていけそう。2年生は3年生より2クラス少ない。学年として幼い感じ。5人が企業で実習をしている。